

THE 市町支援通信

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

あすなる学園市町支援課は、
途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなる学園は多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ② 「CLM (Check List in Mie) と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援 *CLMとは、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです
- ③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

田村厚生労働大臣からのメッセージ

先日は、あすなる学園で、障害児支援の分野での先進的な取組を視察させていただき、ありがとうございました。スタッフの方々との意見交換等も含め、貴重な経験となりました。



視察では、あすなる学園が発達障害児支援の中核組織として地域に貢献されていることがよく分かりました。関係者の方々が、CLMの普及や市町村のアドバイザーの育成支援等に非常に熱心に取り組んでいただいていることに頭の下がる思いでした。

障害児支援にかかる福祉サービスの利用者は、平成24年4月からの制度の再編・一元化以降着実に増加してきており、今後は、各地域における先進的な取組を全国に広めて全体の水準を引き上げていくことが重要な課題になると思っております。今後とも、三重県における障害児支援の取組をさらに進めていただき、その成果を厚生労働省としても全国の障害児やそのご家族のために役立てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

平成25年10月

厚生労働大臣 田村 憲久

あすなろ学園ハーフ研修(6 か月間)を期待して

いなべ市では、平成 19 年度にスタートした三重県の「発達支援システム」構想から「いなべ市チャイルドサポート」の事業化に着手しました。

事業を進めるにあたって、適正に支援ができるよう職員の専門研修として、平成 20 年度から現在までに「みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修」に教員 2 名、保育士 3 名を受け入れていただきました。

本年度は、市町の発達総合支援室と「あすなろ学園」の両機関で研修を行う『ハーフ研修』に 1 名（中学校で発達障がい児支援に長年関わった教員）を派遣しています。前半は、いなべ市の保育士・教員のアドバイザーから知識及び技能を学びました。後半は、発達障がい児の治療及び発達支援の現場である「あすなろ学園」での研修となります。「あすなろ学園」でしか体験することのできない最新の知識や技術を学び、いなべ市の発達支援の核となることを期待しています。

いなべ市では、市民の発達障がいの理解も徐々に得られるようになったことにより、発達相談のニーズも増え、ますます専門的な人材育成が求められています。いなべ市の発達支援の分野は、まだまだ発展途上ですが、今後も子どもや保護者に寄り添い、そのニーズにこたえられるよう取り組みますので、あすなろ学園をはじめ関係機関の更なるご指導をいただきますようお願い致します。

いなべ市役所 健康こども部
発達支援課長 藤野芳次



この子の幸せを求めて

白川町に生まれ育つ子どもたちが苦手を克服し、得意を見つけ、伸ばすこと。そして、社会の中で自立して生活ができること。それらを願って白川町の『子ども発達支援システム』を立ち上げました。

本町は、教育委員会が保育園を管轄し、保育園 6 園、小学校 5 校、中学校 3 校がそれぞれの小学校を中心とした教育支援部会を作り、組織的な動きを始めました。

町としての主な取り組み

①小中学校長と園長が参加する校・園長会

保育園、小中学校の保育や授業を観察し、支援を要する子どもの状態や支援の仕方などについて、研究交流を行います。

②小中の教職員による保育園研修

小中学校の教員が夏休みに、保育園に出向き、子どもの発達状況などを共有します。

③授業のユニバーサルデザイン化

保育園と小中学校が本年度から、授業改善に取り組み始めました。

◇CLMの成果が町を動かす

三年間にわたって取り組んだ CLM は、大変な成果がありました。CLM に取り組んだ当初は、保育士、教師、行政担当者との間に意識の違いなどがあり、互いの共通認識に至るまでには時間を要しました。

しかし、CLM に取り組み続けることにより、“この子の幸せ”を求めて、適時適切な支援をしていこうとする関係者の意識の高まりが時間と共に生まれてきました。三年を経て、関係機関と連携しながら、生まれてから 15 歳までの子どもの育ちを見届け、支援するための「白川町発達支援連携協議会」を足元させることができました。



小中の教職員が保育園で
保育参観

岐阜県白川町教育委員会
教育長 瀬瀬 政昭

クラスのみんなど、ともに育つ支援



Aくんの姿

- 落ち着きがなく、よく動く。
- 思いついたらすぐに喋ってしまう。



担任の願い

落ち着いて話が聞ける
ようになってほしい・・・



クラスの姿

- 話を聞くことが苦手な子が多い。
- 集中して活動に取り組むことができない。

名前：Aくん（5歳児）

絞りこまれたチェック項目

（8）どんな場面でもよくしゃべる
エピソード

朝の会で担任が話している時、思いついたこと喋ってしまう。

要因や気持ち

- 刺激に左右される
- 喋ってよい時がわからない

目標：朝の会で担任が1日のスケジュールを話している時、喋らずに最後まで聞くことができるようになる。

期間	具体的な指導方法		結果・評価					
9/2 ～ 9/13 2W 10回	<p><クラス環境の整えとクラス全体の支援></p> <ul style="list-style-type: none"> • 担任の後ろには、刺激となる物を置かない。（支援の例①） • お話を聞く時の約束をする。（支援の例②） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>やくそく</p> <p>①せんせいがはなしをしているときは、しゃべりません。</p> <p>②てをあげて、あてられてからはなします。</p> <p>③ともだちにちよっかいをかけません。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • “しずかにカード”を掲示する。（支援の例③） • 1日のスケジュールは、目で見てわかるようにする。（支援の例④） • 静かに聞いている姿をほめる。 	<p><個別の支援></p> <ul style="list-style-type: none"> • 本児の席は、担任の前にし、話を聞くことが苦手な子の近くには座らせない • 「Aくんもね」と個別に声をかける。 • 喋り出しそうになった時は、“しずかにカード”を見せて気づかせる。 • 静かに聞いている時は、OKサインを出す。 • 静かに聞いたことを十分にほめる。 	9/2	○				
			9/3	○				
			9/4	○				
			9/5	○				
			9/6	○				
			9/9	○				
			9/10	○				
			9/11	○				
			9/12	○				
			9/13	○				
						<p>評価日</p> <p>9月13日（金）16:00～</p>		

「CLMと個別の指導計画」による

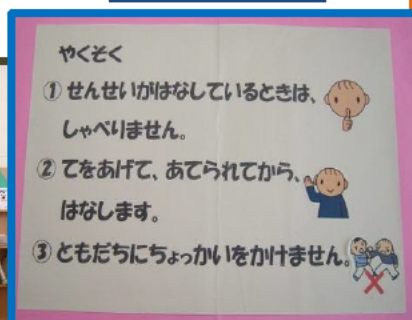
支援のあれこれ

～具体的なアイテムを紹介します～

支援の例①



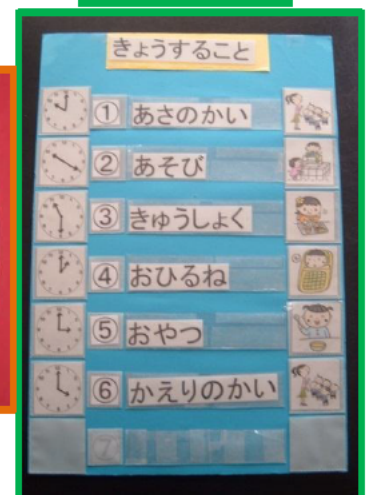
支援の例②



支援の例③



支援の例④



速報！！

375

8月27日(火)三重県総合文化センター中ホールにて『ザ・夏 途切れない発達支援研修会(講演会)』を開催しました。幼児期から小中学校教育を見通した“保育・教育に求められる目利き・腕利き”について、講演させていただきました。また、会場ロビーでは、支援アイテムの展示を行いました。

ご協力いただいたアドバイザーの皆様、ありがとうございました！！

アンケート結果、お寄せいただいたご意見・ご感想をいくつか紹介します

子どもの困り感を見極め、二学期に向けて具体的な支援を考えるのに、たくさん活かせる内容の講演でした。(名張市 小学校教諭)

CLMは作成が煩雑そうにみえますが、誰が見てもわかりやすく、支援のしやすいように作成されているように思いました。

(四日市市 養護教諭)

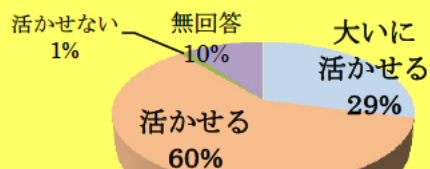
巡回相談やCLM研修を受けさせていただき、とても勉強になりますし、私自身が困っていたことも、子どもの変化とともに手立てが見えてきて良かったです。

(東員町 幼稚園教諭)

Q: 職種をお聞かせください。

	人数
保育士	103
幼稚園教諭	36
小学校教諭	72
中学校教諭	7
高等学校教諭	3
特別支援学校教諭	34
保健師	7
行政	13
養護教諭	10
その他	40
合計	325

Q: 「CLMと個別の指導計画」は今後の保育・教育に活かそうですか?



インフォメーション

「CLMと個別の指導計画」を活用した発達支援の実践報告会

- 【日時】平成25年11月23日(祝・土) 9:30~16:30
- 【場所】三重県人権センター 三重県津市一身田大古曾693番地1
- 【対象】保育士、教員(幼稚園・小学校等)、関係行政職員(保健・福祉・教育等)
- 【内容】県内外の保育所、幼稚園、小学校の事例の具体的な報告
- 【申込】「参加申込書兼同意書」に必要事項を明記の上、郵送またはFAXにてお申込みください。
- 【締切】平成25年10月31日(木) *定員(300名)になり次第、締切りとさせていただきます。

*「参加申込書兼同意書」はあすなろ学園のホームページがダウンロードできます。

ダウンロードできない場合は、あすなろ学園市町支援課(TEL:059-234-8700)にご連絡ください。

2013年10月9日

<発行>三重県立小児心療センター あすなろ学園 広報担当: こどもの発達総合支援室 市町支援課
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL: 059-234-8700 FAX: 059-234-9361
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/